

第16回テーマ展示

四季 詩集

中也とめぐる
春夏秋冬

2019年2月20日(水)－2020年2月11日(火・祝)

※特別企画展期間(8月1日-9月23日)を除く

中原中也記念館
Nakahara Chūya Memorial Museum



第16回テーマ展示

四季詩集

中也とめぐる春夏秋冬

今年も旅をするであらう。今年も多分日向に赴く。

— 随筆「夏」より



藁束の上で昼寝をしている中原中也 昭和7年7月または昭和10年7月(推定)
詩人・高森文夫の故郷、宮崎県東臼杵郡東郷村(現・日向市)へ旅した際に、高森が撮影した写真。

【入館料】
一般320円(270円)
大学・高等専門学校^の学生210円(162円)
70歳以上、18歳以下無料
()内は20名以上の団体料金
※2019年10月に料金改定予定。

【開館時間】
5月-10月●9:00-18:00(入館は17:30まで)
11月-4月●9:00-17:00(入館は16:30まで)

【休館日】
毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、毎月最終火曜日
年末年始、展示替えのための臨時休館あり

【主催】
公益財団法人山口市文化振興財団

2019年

中原中也記念館は開館25周年

中原中也記念館

Nakahara Chūya Memorial Museum

〒753-0056 山口県山口市湯田温泉1-11-21

Tel. 083-932-6430 Fax. 083-932-6431

URL: <http://www.chuyakan.jp/>

E-mail: chuyakan@c-able.ne.jp



中原中也は生涯に360篇ほどの詩を作りましたが、そのなかには季節に触れたものが数多くあります。そこで中也がうたったのは、四季それぞれが持つ風情と、それによってわきあがるさまざまな感情でした。生きることと詩作が強く結びついていた中也にとって、その時々^の季節の感触は、詩にうたう思いを生き生きと伝える上で重要な要素であったといえるでしょう。本展では、季節にかかわる中也の作品を集め、あわせて書簡などからわかる季節ごとの中也の暮らし^{ぶり}を紹介し^{ます}。詩集をめぐるように四季の詩を楽しみながら、あなたの心に響く言葉を見つけてください。

第1章 春

「春の日の夕暮」
「春宵感懐」
「(ともにかくにも春である)」
「(吹く風を心の友と)」

第2章 夏

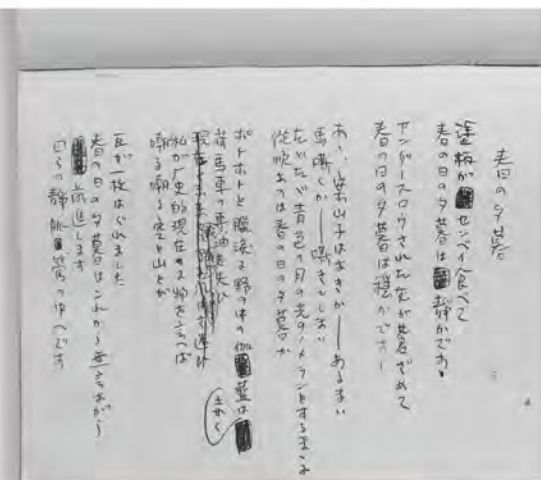
「初夏の夜」
「夏」
「逝く夏の歌」
「夏」(随筆)

第3章 秋

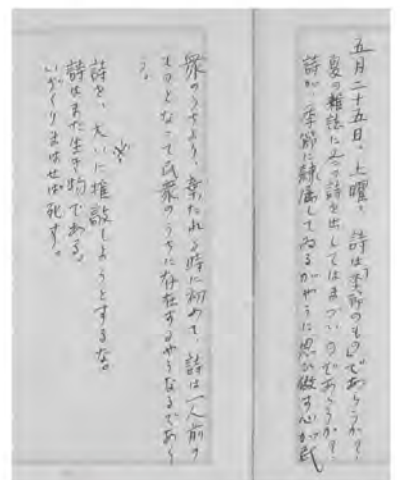
「秋」
「港市の秋」
「一つのメルヘン」
「臨終」
「漂々と口笛吹いて」

第4章 冬

「雪が降つてゐる……」
「冬の夜」
「冬の長門峡」
「汚れつちまつた悲しみに……」
「寒い！」



中原中也原稿「春の夕暮」(「ノート1924」)



中原中也 昭和10年5月25日の日記
(「日記(雑記帖)」)